

チーム感染対策任者は、競技会開催日に本紙「ガイドライン」を携帯し、選手・スタッフへ徹底させること。

秋田県サッカー協会4種委員会 コロナ感染予防ガイドライン

事前準備	①	チーム内において感染対策責任者を定める。	
	②	注意事項(ガイドライン)を読み、選手・スタッフ・関係者全員が理解する。 不安がある場合は参加を見送る	
	③	秋田県サッカー協会4種委員会から健康チェック表を入手し、競技会開始30分前までに健康チェックを行う。 選手・指導者・審判員が、体温 37℃以上 ・9つのチェック項目に1つでも該当する場合は参加できない。	
往復移動	①	マスクを着用する。	② 会場に到着後、手洗い、消毒、うがいをする。
	③	寄り道をせずに、できるだけ早く目的地に向かい、帰宅する。	
試合前	①	選手・指導者・スタッフ・審判員・運営担当・観戦者はマスクを着用する。	
	②	健康チェックシートを協会運営本部に提出する。【試合開始30分前まで】	
	③	ミーティングの回数・時間を減らす、もしくは行わない。	
	⑤	着替えはチームで集まって行わず、素早く済ませる。	⑥ 握手やハイタッチ等は行わない。円陣は行わない。
試合中	試合関係者のコミュニケーション、給水等		
	①	スタッフ・交代選手等、ベンチに座る人はマスクを着用する。(励行・目標)	
	②	ベンチでの選手間の距離を保つ。	
	③	プレー以外の不要な接触を避ける(得点後の喜び、交代時の握手)。	
	④	ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。	
	⑤	交代選手は、アップ時の他の選手との距離にも注意を払う。	
	⑥	ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。	
	⑦	うがいした水をピッチ内に吐かない。	⑧ ボトル・タオル等を他の選手と共有しない。
	ハーフタイム・交代・退場時、試合終了時		
	①	怪我をした選手を他の選手がむやみに接触しない。また、ピッチ外に当該選手を移動させる際は、おんぶやだっこを極力避けるようにする。	
②	試合後のチーム、審判員との挨拶と握手、相手チームベンチへの挨拶は行わない。		
試合後	①	着替えは、チームで集まって行わず、素早く済ませる。	
	②	試合会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で持ち帰る。	
帰宅後	①	手洗いうがいを徹底する。	② 早めに就寝し、十分な睡眠時間を確保する。
事後対応	①	帰宅後14日以内に、チームの中から感染者が出た場合は、秋田県サッカー協会4種委員会に速やかにその旨報告する。 4種委員長：鈴木 浩彦 090-6626-9917 4種総務担当：熊谷 浩之 090-1379-8553	

事業・大会の中止(中断・延期)の判断基準について

判断基準	①	秋田県による緊急事態宣言発令。②県・市町村施設(グラウンド)の使用制限。	
	③	秋田県サッカー協会・秋田県体育協会・秋田県スポーツ少年団等、上部団体からの事業自粛要請。	
	④	秋田県サッカー協会4種加盟チーム内 所属選手が感染者として認められる。 ※なお、協会4種加盟チーム内所属選手が 濃厚接触者となった場合は、その選手を出場停止とする。	

秋田県サッカー協会4種委員会の感染防止対策・予防対策

事前準備 運営方法	①	開催当日朝に、検温と別紙「健康チェックリスト」を行い、リスト全てに該当しない場合は参加しません。	
	②	開催日ごとに感染対策責任者を任命し、感染対策の指揮・指導を行います。	
	③	(非接触型)体温計・消毒液・液体せっけん等の予防のための物品を会場に用意します。	
	④	事業運営本部はマスクを着用します。	⑤ 諸室の換気に努め、物品の消毒を行います。
	⑥	事業運営本部は必要最小限に絞ります。運営本部においては密集せず、感染防止に努めます。	